

図書館だより



Fuji Women's
University Library

ラーニング・コモンズ 特集号

ともに学ぶ場として

藤女子大学図書館長 木村 信一

講堂棟の耐震補強工事に伴い、長らく利用のなかった講堂棟1階部分にラーニング・コモンズが姿を現してから、4ヶ月あまりが経過しました。

利用件数も少なくありませんが、図書館のなかに生まれたささやかなスペースをどう活用するかについては、より快適な環境を整えながら、場に参加する人たちとともにゆっくりと考えてゆきたいと思います。

個人的なことではございますが、一番奥まったスペースで卒研ゼミのプレゼンテーションをしています。電子黒板の利便性はもとより、開放的な雰囲気の中であつろいだ議論ができるのは、心地よいです。ゼミ教室の使い勝手も悪くはなく、電子黒板を利用する頻度も高くはない(まだまだ使いこなせていない)のですが、それでも、プレゼンターの学生はゼミ教室よりもラーニング・コモンズのほうを好みます。かくいう私も、プレゼンテーションの進行がスムーズになって、あっという間に時間が過ぎてしまいます。

なぜなのでしょう。

ひとつには、教室という場所にどうしてもつきまとう規律や順応といった閉鎖的なイメージが、この場所には感じられない、ということがあるのでしょうか。学ぶものと教えるものが対峙する教室とは違って、図書館は、学生にとっても教員にとっても一義的に学ぶ場所です。ネットで世界と繋がっていることも含め、広大な書架の森にいつでも立ち入ることができるという環境が、教員と学生の両方の心持ちを広くやかにするのでしょうか。

そもそも図書館という場所には、ある種の自由、ある種の無為、余裕があつてほしい。学びの基盤をなすのは、そういう姿勢であると思うからです。目的をもって図書館を利用する人も多いですが、漫然と図書館に身をおき、書架の森を涉猟し、気ままに本を手にとって、仲間がいれば共に語らう、そういう風にして図書館に滞在することを好む人もいます。数万冊、数十万冊の書物に囲まれていると、それだけで気宇広大になると感じる人も少なくありません。

学ぶということは共に学ぶことであつて、人を育てるのは特定の誰かでも講座でもなく、学ぼうとする人たちが集うなかで醸成されるひとつの場所、そこで育まれる人びとの関係であるということは、いえると思います。

ラーニング・コモンズはそういう場所になりうると思います。

CONTENTS

1. ともに学ぶ場として
藤女子大学図書館長 木村 信一
2. 北16条キャンパス図書館1Fに
ラーニング・コモンズができました!
4. ラーニング・コモンズ利用者の声
学びのプロセスを共有する場を目指して
日本語教員養成課程 副田恵理子
5. ラーニング・コモンズ
~大画面を通して見る子どもの姿を
実習計画に活かす場としての利用
保育学科 高橋真由美
5. 藤女子大学日本語・日本文学会学生運営委員の
上映会でラーニング・コモンズを利用した感想
日本語・日本文学科 4年 土田 麻奈
6. 教員著作紹介
7. 図書館委員会からのお知らせ
8. 図書館資料Navi 第6回
図書館情報学課程 小川千代子

No.90

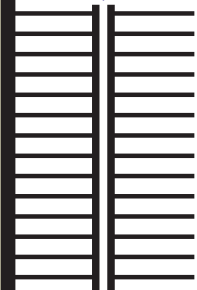
2015.10

北16条キャンパス図書館1階に ラーニング・コモンズができました！

ラーニング・コモンズとは学びのための共有空間。
まだまだ生まれたてなので、これから皆さんと一緒に育
てていきたいスペースです。
皆さんの自由な発想でラーニング・コモンズを活用して
ください。

貸出用ノートパソコンは全部
で15台あり、2階カウン
ターで貸出を行っています。
1回2時間の利用で延長する時
は申し出てください。

図書館2階
から階段



勾玉机を自由に組み合わせ、図
書館の資料も使いながら学習で
きるスペースです。
無線LANも完備され、2階カウ
ンターではノートパソコンも貸
出しています。



書庫1層

ひっそり置かれているバ
ランスボール。ラーニ
ング・コモンズは頭も体も
鍛えられます！



ワイヤレスヘッドフォンをカウンターで貸出しています。メディアスペースで映像ソフトを見たい時はメディアスペースで見たいと一声かけてくださいね。



通常の授業を行ったり、ゼミ発表のリハーサルなど、様々な用途に使われています。事前に予約もできるスペースですので、ご利用の際はカウンターで予約をお願いします。



電子黒板を使ってブルーレイやDVDの視聴ができます。メディアスペースの照明を消し、ワイヤレスヘッドフォンを使うと映画館で観ている気分！？

指定図書の一部とカラープリンターが置かれています。グラフ等、色が多色にわたる資料を印刷する時は便利！

★ラーニング・コモンズ豆知識★

- ★飲食禁止です。ただし、蓋のついたペットボトル等はOKです。
- ★パソコンはすべてアカウント制です。
- ★ラーニング・コモンズ内の机や椅子、バランスボールは使ったら元に戻してください。



ラーニング・コモンズ利用者の声

学びのプロセスを 共有する場を目指して

日本語教員養成課程 副田恵理子

現在、日本語教員養成課程の『日本語教育概論』という授業でラーニング・コモンズを使用しています。この授業では学生達はグループに分かれ、「英単語を記憶するのが苦手なのだが、どうすればいいのか?」「子供をバイリンガルに育てるにはどうすればいいのか?」などの課題の解決策を、書籍やインターネットからの情報をもとにグループで話し合い、導き出す活動を行っています。このプロセスの中で、図書館・PCを使った情報収集の場、持ち寄った情報をもとにグループ内で解決策を話し合う場、導き出した答えを発表する場が必要となり、昨年度までは情報収集と話し合いはPC教室で、発表は講義室で行っていました。しかし、PC教室の場合コンピュータが横並びのためグループ内で情報を共有して話し合うことが難しく、また、教師も各グループの作業状況を把握しにくい状態でした。

しかし、今年度からはラーニング・コモンズを利用することで、学生達の発表の質が格段に上がりました。これは主に以下の3つの理由によります。まず、PC教室を利用していた昨年度と違い、今年度は図書館内のスペースを利用することで、インターネットよりも書籍から得た信頼性の高い情報や理論に重点を置いて話し合いをするようになったためです。また、PCや書籍を囲んでグループ作業ができるようになったことで、単に分担して得た情報を繋ぎ合わせるのではなく、グループ内での密な議論をもとに答えを導き出すようになったこともあります。さらに、教師が学生達の情報収集や話し合いのプロセスに目を配りやすくなったため、軌道修正がしやすくなったことも理由の一つです。

教師の側としても、ラーニング・コモンズを利用することで学生達の発表やレポートなど成果物を見るだけでなく、その成果に至るまでのプロセスを見ることが可能となり、学生達が何に躓いているのかが把握できるようになりました。今後はこのプロセスをグループ間で共有する場を持ちながら、授業を進めていければと思っています。



ラーニング・コモンズ

～大画面を通して見る子どもの姿を 実習計画に活かす場としての利用

保育学科 高橋真由美

保育学科では、3年次以降の学外実習に先駆け、2年次に「乳幼児・障害児実習」という授業で系列園である藤幼稚園と羊丘藤保育園においてグループ実習を行っています。今年度より昨年度までの授業構成を見直し、①活動計画を立てる→②準備・シミュレーションを行う→③実際に子どもと活動を行う→④活動を振り返り次回への課題をみつける、というサイクルの積み重ねを丁寧に行うこととしました。学年を4つのグループに分け、2つのグループがそれぞれ幼稚園・保育園で実習を行っている間に、残りの2グループは北16条キャンパスで実習の計画・準備・振り返りを行っています。

活動の計画を立てるためには、子どもの具体的な姿を想像できる力が必要となります。実習の経験が初めてであり、子どもと過ごした経験が少ない学生達にはこの作業は難しく、この力をどのようにつけていくかということが課題でもありました。その際に、有効利用できるスペースがラーニング・コモンズです。ラーニング・コモンズでは、大画面で映像を見ることができるので、40名程の大人数の学生でも、自分達の実習場面を撮影した映像を、子どもの表情・様子などの細かい部分に焦点を当てて視聴することができるのが魅力のひとつです。また教卓や机がないことで、ビデオに解説を入れていく教員

と学生の間にも境を感じずに相互に意見交換ができる雰囲気を作ることが容易になると思いました。さらにビデオ視聴の前後で、担当クラスごとに話し合いの時間を持つのですが、椅子をサッと動かしてグループワークに移ることができることも便利であると感じました。円型になって膝をつきあわせた状態で話し合いができるため、机を挟んでの話し合いよりも、意見が活発に交換される様子も見られました。

後期は前期よりも実習回数も多く、振り返りや計画を立てる時間も前期以上に必要となります。まだ利用回数は少ないのですが、空きがある際には、また利用していきたいと思える空間でした。

藤女子大学日本語・日本文学会 学生運営委員の上映会でラーニング・コモンズを利用した感想

日本語・日本文学科 4年 土田 麻奈

今年の春、私たち藤女子大学日本語・日本文学会学生運営委員は、「映画鑑賞会」の開催にあたり、大学図書館のラーニング・コモンズを利用しました。映画鑑賞会は主に日本文学の映像化を鑑賞し、意見を交換し合うことで研究を深める行事です。これまでは教室で行われていましたが、今回は当時開放されたばかりだったラーニング・コモンズを、この機会に利用してはどうかという意見を採用しました。

まず一番奥のスペースに入って感じたのは、部屋が広く椅子も多いことでした。多人数での利用も可能できそうだと感じました。電子黒板にDVDの映像を投影して鑑賞しましたが、大きくて見やすく、問題なく映画の内容に集中できました。また、椅子に小さいテーブルがついており、講義に使用する時も聞きながらノートを取りやすいただろうと感じました。結果的にかなり快適に利用でき、ラーニング・コモンズの他の部屋も、今後行事で使いたいと思いました。



教員著作紹介



『古代東アジアの「祈り」 —宗教・習俗・占術』 水口幹記編

森話社発行，2014年9月25日
所蔵館：本館

日本語・日本文学科
水口 幹記

いつの時代も人々は様々な願いを抱き、日々の生活を送り、歴史をつくってきました。時には、個々の状況に対処す

るための呪術や占い・体系立てられた宗教に縋り、祈り、自らの願いを叶えようと努力し続けてきました。また、こうした「祈り」は、希望・欲望・絶望・怨みなどプラスにもマイナスにもなる感情に支えられ、捧げられ、呪術・占い・宗教を生み出してもきました。本書では、日本・中国・韓半島・ベトナムといった東アジア世界におけるこのような現代にも通じる「祈り」に関する諸論考を一冊にまとめています。大学生にも理解できるように、皆丁寧に書かれています。是非手に取ってみてください。

(水口は「海・髪・東アジア、そして祈り」を執筆しています。)



『古代日本と中国文化 —受容と選択』 水口幹記著

塙書房発行，2014年10月1日
所蔵館：本館

日本語・日本文学科
水口 幹記

古来、日本列島の文化は、周辺諸国・諸地域との接触無しには成立しえないものでした。『古事記』しかり、『日本

書紀』しかり。日本古来の姿が見られると評されることも多い『万葉集』しかり。特に、大陸で発生・展開した中国文化の影響は非常に大きなものがあります。本書では、こうした中国文化を古代の日本がどのように受け入れ、そして、選択していったかという様相を、祥瑞・呪符・占術・時間・音・感性・読書・環境といった様々なテーマを対象に論じています。また、序章と終章では、文化受容をめぐる研究方法や、文学研究と歴史学研究が結びつくためにはどうすればいいのか、といった広く文化をめぐる研究状況についても言及しています。



『よくわかる情動発達』 遠藤利彦、石井佑可子、 佐久間路子編著

ミネルヴァ書房，
2014年10月10日
所蔵館：本館

文化総合学科
石井佑可子

本書は情動とその発達に関する101のトピックを、専門家が簡潔に解説する構成にな

っています。元々は、大学院生だった私が初めて執筆依頼を受けた本です。様々な事情で出版が何年も遅れ、時の流れの中で僥倖ながら編集も分担させていただくことになりました。情動研究は近年とみに盛んになり、知見も更新されているので、原稿が寝ていた(?)何年分かの遅れを取り戻そうと当初の原稿をほぼ書き直し、最近の研究についても網羅しています。裏話ですが、作業中第一編者の先生が「『情動発達』というタイトルで出すのは勿体なかったかな」と呟かれたほど内容が豊富で、情動に関する基本的理論から、様々な状況の子ども達が体験する情動まで取り揃えたお得な一冊になっています。



『アーカイブ・ボランティア： 国内の被災地で、そして 海外の難民資料を』 大西愛編

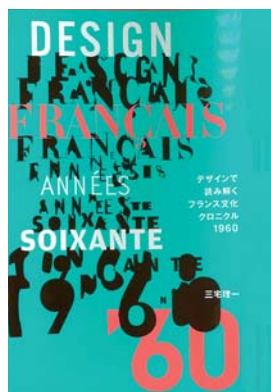
大阪大学出版会発行，
2014年6月19日
所蔵館：本館

図書館情報学課程
小川千代子

この本には、放置されたり、水害などで水浸しになった大切な書類=アーカイブ資料を再び使えるようにするための作業を行ったボランティア作業の経験がつつられています。

「アーカイブ」、NHKアーカイブスとか、デジタル・アーカイブとか聞きますね。でも、この本のアーカイブは、大切な紙媒体の書類(図書とは違う)です。

書類は世界中にあります。しかも、整理されていない書類は、それがどんなに大切な書類であっても必要な時に探し出すことは容易ではありません。この本は、国内の水濡れ書類を乾かす作業(前半)と、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の未整理書類の整理作業(後半)にかかわったボランティア参加者の体験記です。とても珍しい世界ですよ。



『デザインで読み解く フランス文化：クロニクル 1960』

三宅理一著

六耀社発行、2014年9月26日
所蔵館：花川館

人間生活学科
三宅 理一

1960年代のフランスといえば、イヴ・サンローランやソニア・リキエルなどの若手ファッション・デザイナーが彗星のように登場し、フランソワーズ・アルディやセルジュ・ゲンスブルらのシンガー・ソング・ライターが扇情的で含みのある音楽を世に出したことで知られる。「ヌーヴェル・ヴァーグ」と呼ばれる映画の新思潮に始まって1968年の五月革命に行き着く「異議申し立て」の運動が時代を席卷し、日本を含めて世界に浸透する。都市計画の分野でも新たな制度がつくれ、郊外のニュータウン開発や南仏の余暇開発、さらにはマルロー法にもとづく歴史遺産地区の保護が動き出す。今日のフランスのブランド力の下敷きになる新たなデザイン思想が生み出され発展していったこの時代を、筆者のフランス経験を踏まえて著したのが本書である。



『ほどよいレベルで弾ける 保育者のためのピアノ& 童謡曲60』

新海節、田中宏明編著

圭文社発行、2015年3月1日
所蔵館：花川館

保育学科
新海 節

本書は保育者養成校で用いる為に作成された曲集です。保育者養成校で用いるピアノテキストは数多く出版されていますが、本書の特徴はタイトルの通り「ほどよいレベル」という点です。

ピアノ曲では、バロックから近現代までのピアノ曲から、指のメカニクを鍛える練習曲、ポリフォニーを学ぶための小品、古典形式を学ぶための楽曲、音楽的表現力を養うための曲など、様々な視点から効果的にピアノを学ぶことのできるよう厳選した40曲程を掲載しています。

さらに童謡などの子どもの歌を「ほどよいレベル」に編曲し、20曲程掲載しました。

保育者としてのピアノ演奏技術、弾き歌いの技術の向上に、本書が役立つことを心より願っております。

図書館委員会からのお知らせ

・2015年度図書館委員

図書館長

木村 信一（文学部・英語文化学科）

委員・文学部

下田 尊久（英語文化学科）

平田 英夫（日本語・日本文学科）

杉内 峰彦（文化総合学科）

委員・人間生活学部

長尾 順子（人間生活学科）

小山田 正人（食物栄養学科）

青木 直子（保育学科）

委員・職員

中村 友昭（図書課長補佐）

麓 あゆみ（花川事務室情報サービス係主任）

・2015年度図書館委員会として実行すべき課題

2012年度図書館委員会に於いて策定した第Ⅱ期計画の三年次は以下の2点を重点課題として取り組みます。

1. 機関リポジトリの構築
2. ラーニング・コモンズを中心とした学生協働について

その他にも購入希望図書や学習基本図書、電子的資料の整備も進めていきます。



「月報」とその取扱い

藤女子大学がスゴイ！理由

図書館情報学課程 小川千代子

「月報」、聞いたことありますか？ 月報は年報、週報、日報などと同じく定期的に業務の遂行状況を報告する事務的書類のほか、何冊かで構成する全集等の発



行の際、その都度はさみこまれてくる数頁位の印刷物を使うこともあります。本稿では後者を取り上げます。

手元の図書館用語辞典¹は月報を次のように説明しています。「月々の報告、またはそれを載せた印刷物。出版用語としては、全集や叢書など毎月逐次に出される本に挟み込まれるリーフレット、またはパンフレット以外の印刷物のことを言う。著者の略歴、著者についての思い出やエピソードなどが載る。変わったところでは、毎月の月報に小説を連載し、全集の完結と同時に小説も完成するというものもある。図書館では、読み物として、あるいは調査の参考資料として使うため、表表紙を開いたところに貼り付ける例が多く見られる。また、月報だけをまとめて製本しているところもある。」

私は本稿執筆に際し他の2つの図書館に出向き、月報の扱いを見てきました。どちらも、貼り付け処理でした。これが一般的な処理だと用語辞典にも書いてありました。

ところで、藤女子大学図書館では、月報だけをまとめて製本し、これを全集本体に付属する1冊として配架しています。これを見た他の図書館の方が、藤女子大学はスゴイ、と感想を述べられたそうです。ではなぜ、これがスゴイのか。

図書館が受け入れた図書は、一冊ずつ図書館の図書とし

て使えるようにするための作業が施されます。OPACへの入力と資産登録をすると、次に図書にはラベルが貼付されます。これが終わると、書架の所定の位置に配架されます。この作業は、スピードが求められます。雑誌の場合は、各号の入力作業の他、配架後一定の期間を経過すると合冊製本が行われます。こうした作業の流れの中で、毎月発行される全集の全冊が書架上に揃うまで、その全集に挟み込まれていた全集の月報だけを別に集めて、全号が揃ったら月報だけをまとめて製本を行い、さらには製本された月報合冊のOPAC入力以下の作業も行う。これが藤女子大学図書館での月報の取扱いです。月報が出揃うまでには数か月から数年という時間を要するのが普通で、息の長い作業が必要です。この息の長い作業が行われていることこそが、藤女子大は「スゴイ」といわれる理由です²。



なお、藤女子大学図書館のOPACを「月報」で検索したところ、64項目がヒットしました。内訳は、「月報」というタイトルを含む図書、雑誌が32件、「月報」そのものに関する研究書3点、「月報」の目録1点、本稿が着眼した「製本された月報」が32点（図書・雑誌との重複5点含）でした。その形状故に失われやすい「月報」に、藤女子大学図書館は深い愛情を注いで皆さんの利用を待っています。

1 『最新 図書館用語大辞典』 図書課女御辞典編集委員会編、柏書房、2004年発行

2 図書館註) 2013年より特別なものに限り製本。他は貼付しています。

● 編集後記 ●

図書館だより90号「ラーニング・コモンズ特集号」をお届けいたします。特集に際して、巻頭言に「ともに学ぶ場として」と題して図書館長の木村信一先生から、「学びのプロセスを共有する場を目指して」を副田恵理子先生から、「ラーニング・コモンズ～大画面を通して見る子どもの姿を実習計画に活かす場としての利用」を高橋真由美先生から、日本語・日本文学科4年の土田さんから「藤女子大学日本語・日本文学会学生運営委員の上映会でラーニング・コモンズを利用した感想」をご寄稿いただきました。また、図書館資料Navi第6回には、小川千代子先生から「『月報』とその取扱い 藤女子大学がスゴイ！理由」と題してご寄稿いただきました。また、両学部の先生方から自著紹介文のご寄稿もいただきました。皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

今回の特集を通じて、先生方、学生さんそれぞれの視点から、ラーニング・コモンズのもつ可能性を感じていただけましたでしょうか。もっと利用しやすい環境に変えていくために、是非皆様の声をお聞かせいただくと嬉しいです。

(M.K)



図書館キャラクター「きしんさん」

ケータイから本が探せます！



QRコード

藤女子大学 図書館だより 第90号 2015.10

発行者 藤女子大学図書館 札幌市北区北16条西2丁目

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770

<http://www.fujijoshi.ac.jp/library/>

※URLが変更になりました